

島根県で高病原性鳥インフルエンザ (H5亜型)発生！

発生農場： 島根県安来市の採卵鶏農家。採卵鶏。23,300羽飼養。

経緯： 11月29日朝、農場主が5羽の死亡を確認。

同日午前中に、島根県松江家畜衛生部が簡易検査を実施したところ陽性となったため、県家畜病性鑑定室にて、遺伝子検査を実施したところ高病原性鳥インフルエンザ(H5亜型)であることが確認されました。

12月2日、国の動物衛生研究所で遺伝子解析を行ったところ、当該ウイルスは強毒タイプで、10月に北海道の野生カモの糞から分離されたウイルスと極めて近縁であることが明らかになっています。

飼養衛生管理及び早期発見早期通報の徹底を！

鳥インフルエンザの症状(日頃から注意して観察してください)

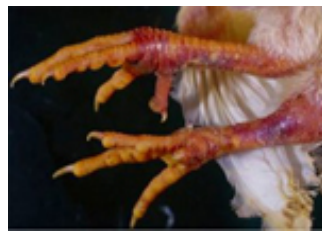
沈うつ、顔面や頸部の浮腫性腫脹、肉冠・肉垂の腫脹、肉冠の壊死と出血、脚部の皮下出血、食欲・飲水欲の減退、産卵の停止及び緑色下痢便の排泄、突然死など



沈うつ



肉冠の出血・壊死、



脚部皮下の出血



突然死

家きんの急な死亡率の増加や異常があれば、すぐに家畜保健衛生所までご連絡ください！

西部家畜保健衛生所 TEL:0551-22-0771(平日)

090-5564-1018(土日・休日・夜間)

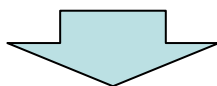
090-5568-0817(土日・休日・夜間)

注目！

当該ウイルスは遺伝子解析の結果、強毒タイプで、10月に北海道の野生カモの糞から分離されたウイルスと極めて近縁であることから、野鳥により持ち込まれた可能性が高いと思われます。

また、今回発生があった農場については、鶏舎防衛シートに穴があったことが、新聞等で大々的に報道されていることから、特に、野鳥・野生動物の侵入進入防止対策について徹底をお願いします。

具体的には…



- 鶏舎には2cm角以下の網目の防鳥ネットを上から覆うように、ゆったりと垂らすように張り、**間隙を塞ぎ**ましょう。また、破損が見つかったら、**直ちに補修**しましょう。
- 防鳥対策と同様、**間隙を塞ぎ**、ネズミの侵入を防止しましょう。
- ネズミを見つけた場合、その侵入経路を見つけ、捕獲装置の設置、殺鼠剤の使用により駆除しましょう。
- 鶏舎周辺、農場敷地周縁及び農場内道路へ**消石灰を散布**しましょう。
- 鶏舎の中に入ったら、すぐに扉を閉めましょう。